

『CLOSE-UP!!尿沈渣～異型細胞鑑別テクニック～』

溝口義浩

公立学校共済組合九州中央病院

尿沈渣鏡検による異型細胞のスクリーニングは、患者さんへの負担が少なく、迅速性、経済性に優れている。しかしながら、その判定は容易ではなく日常業務の中でも特に悩ましい検査業務の一つであると思われる。本日はその“異型細胞”を CLOSE-UP し、異型細胞を判定する上で有用な所見を概説する。また、判定困難症例や組織型別に鑑別が難しい成分（尿路上皮癌細胞 VS 反応性尿路上皮細胞 反応性尿細管上皮細胞 VS 腺癌 反応性尿細管上皮細胞 VS 扁平上皮癌細胞等）についても重要なポイントを示し皆様と一緒に考えたい。本講演が皆様の異型細胞鑑別の向上に少しでもお役に立てば幸いである。